



けやき

学校だより4月号
西東京市立住吉小学校
校長 三澤 亘潤
令和7年4月7日
042-423-4187

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-sumiyoshi/>

ごあいさつ

校長 三澤 亘潤

古来、「暑さ寒さも彼岸まで」と言われながら、彼岸を半月過ぎても、思い出したように寒さがぶり返す日があります。気象学的な理由は不明ながら、統計的にみて、毎年その日に特定の天気が見れる傾向が強い不思議な日のことを、「特異日(とくいび)」といいます。4月6日は、そうした「寒の戻り」が起こりやすい日で、「寒の戻りの特異日」とされることがあります。今年、卒業式の前日に、桜の開花宣言があったものの、それ以降の「花曇り」がうらめしく、歳時記をめぐってしまいました。しかし、その「花冷え」のおかげで、校地内のチューリップやパンジーなどの花の見頃が、始業式や入学式に重なり、華やかに新学期を彩ったことを、嬉しく思います。

初めまして。私は、4月1日付けで、住吉小学校長に着任いたしました、三澤 亘潤(みさわ たかひろ)と申します。同じく着任した 山本 英男(やまもと ひでお)副校長とともに、前任の 小林 宏 校長が手塩にかけたこの学び舎を継承し、子ども達の育ちに寄与してまいります。

さて、先日、2030 年度以降に実施される次期学習指導要領の改訂に向け、文部科学大臣が中央教育審議会に諮問しました。それによると、新しい学習指導要領は、

- 生成 AI の発展などを踏まえ、知識の集積だけでなく、深い意味の理解を促す学びの在り方
- 情報モラルやメディアリテラシーの育成強化
- 自動翻訳機などが普及する中での外国語教育の在り方

などを含んだ、幅広い内容となる方向です。特に、この諮問で強調されているのが、画一的な教育から脱した「柔軟な教育課程」の在り方です。それぞれの子ども達が主体的に、深く学べることを目指すとされています。

このことは、これからは、これまで以上に、子ども達や地域の状況に応じた、各校の「特色」が問われるということと考えます。歴史に磨かれた基礎・基本を確かな土台としつつ、次代を担う子ども達にとって必要な資質・能力の育成について、明確な理念が必要です。

そこで、コミュニティ・スクールへと移行して3年目となるこれまでの歩みを踏まえ、学校と家庭と地域が、子ども達の学びを媒介に結び付き、リアルな地域教材を開発・実践するなかで、協働を図れるようにしたいと考えています。保護者・地域の皆様には、ご知見を賜るとともに、その具現化に、是非、参画していただきたいと願っております。

その手始めに、花の種を蒔こうと思います。「花曇り」にも「花冷え」にも負けずに、美しく咲く花の種を、一緒に蒔いてみませんか？

【学校ホームページについて】

学校の様子を保護者や地域の皆様に伝え、開かれた学校にしてい
ために、普段の学校生活の様子をホームページで公開しています。
ホームページをより身近に感じていただくために、学校ホームページの
学校生活の様子部分を QR コードにしています。ぜひご覧ください。



【登校時間について】

全校8:15~8:20の
登校時間になります。早
く登校しすぎないように
してください。

【電話対応時間と欠席メールについて】

電話対応時間 平日の午前8時00分 ~ 午後6時30分

この時間外には音声対応となります。ご不便をおかけして恐縮ではございますが、ご協力をお願いいたします。

また、16:25~16:40までは会議中となりますので、お電話での連絡は避けるようにしてください。

すぐるでの欠席や遅刻の連絡は、当日の8:15までにお願いします。

8:15以降は電話連絡をお願いします。 ※メールは2年生以上